

令和8年度 新規採択希望

県 営 土 地 改 良 事 業 計 画 書
(農 山 漁 村 地 域 整 備 交 付 金 事 業)

山 仁 田 地 区

宮 崎 県

目 次

第 1 章	目的	1	1.	産業別就業人口	10
第 2 章	地域及び地積	1	2.	経営耕地広狭別農家数及び 耕地の分散状況並びに 専兼業別農家数	10
第 1 節	地域	1	3.	動力農機具及び主要家畜頭数	10
第 2 節	地積	1	4.	主要作物作付状況	11
第 3 章	現況	2	5.	農業の動向	11
第 1 節	気象及び海象	2	第 6 節	地域環境の概況	11
1.	一般気象	2	第 4 章	一般計画	12
2.	特殊気象	2	第 1 節	事業計画の要旨	12
3.	海象	3	1.	要旨	12
第 2 節	土地状況	3	2.	事業別面積	12
1.	地形、土壌及び侵食の程度	3	第 2 節	営農計画及び土地利用計画	12
2.	土地分類	4	1.	営農計画の概要	12
3.	土地利用の状況	4	2.	土地利用区分	12
4.	土地所有の状況	5	3.	作付方法	13
第 3 節	水利状況	5	4.	生産計画	13
1.	用水状況	5	5.	労働改善計画	14
2.	排水状況	7	6.	級地別土地利用区分	14
3.	河川状況	9	7.	土地配分計画	15
第 4 節	道路現況	9	第 3 節	用水計画	15
1.	道路概況	9	1.	計画基準年	15
2.	主要道路一覧表	9	2.	計画かんがい方式	15
第 5 節	地域農業の概況	10			

1.	農用地造成工	26	第 2 節	換地区の設定	31
2.	土壌改良	27	1.	換地区の名称、所在、面積	31
第 5 節	洪水調節施設	27	2.	換地区を設定する理由	31
1.	貯水池	27	第 3 節	換地計画樹立の基本方針	31
2.	頭首工及び導水路	27	1.	従前の土地の地積の基準	31
第 6 節	干拓施設	28	2.	用途別予定地積	32
1.	堤防	28	3.	農用地集団化の方針	33
2.	潮止め	28	4.	非農用地の換地の方法	33
3.	付属施設	28	第 4 節	土地の評価及び精算の方法	33
4.	埋立	28	1.	評価の方法	33
第 7 節	農用地整備施設	28	2.	清算の方法	33
1.	区画整理	28	第 5 節	換地計画樹立の年度計画	33
2.	暗渠排水	28	第 10 章	事業費の総額及び内訳	34
3.	客土	29	第 11 章	効用	35
4.	徐礫	29	第 12 章	関連する事業	35
5.	農地保全	29	第 13 章	現況・計画図面	35
第 8 節	老朽ため池改修施設	30	1.	計画一般図	35
1.	貯水池	30	2.	計画概要図	35
2.	提体補強施設	30			
第 6 章	附帯工事計画	30			
第 7 章	工事の着手及び完了の予定時期	30			
第 8 章	環境との調和への配慮	30			
第 9 章	換地計画の概要	31			
第 1 節	換地計画を作成する上での 基本的な考え方	31			

3.	計画用水系統	15
4.	計画用水量	15
5.	水源計画	16
第 4 節	排水計画	18
1.	計画基準雨量	18
2.	計画排水方式	18
3.	計画排水系統	18
4.	計画排水量	18
5.	排水対策	18
6.	湛水検討	19
第 5 節	道路計画	19
1.	道路及び索道	19
2.	路線配置図	19
第 6 節	農用地造成計画	20
1.	農用地造成計画	20
2.	土壌改良	20
第 7 節	洪水調節計画	20
1.	計画基準雨量	20
2.	計画洪水量及び調節量	20
3.	貯水池	20
4.	洪水調節検討	21
5.	管理計画	21
第 8 節	干拓計画	21
第 9 節	農用地整備計画	21

1.	区画整理	21
2.	暗渠排水	22
3.	客土	22
4.	農地保全	22
第 10 節	老朽ため池改修計画	23
1.	洪水吐改修計画	23
2.	提体補強計画	23
3.	取水施設改修計画	23
第 5 章	主要工事計画	23
第 1 節	用水施設	23
1.	貯水池	23
2.	頭首工	24
3.	揚水機	24
4.	用水路	24
5.	その他かんがい施設	25
第 2 節	排水施設	25
1.	排水水門	25
2.	排水機	25
3.	排水路	25
4.	その他排水施設	25
第 3 節	道路及び索道	26
1.	道路	26
2.	索道	26
第 4 節	農用地造成	26

第 1 章 目的

本地区は、高崎総合支所から約7kmにある大淀川支流の高崎川から取水し、総合支所や商店街、人家等の中心部など約9kmを経て総合支所より南東側約2kmの水田114.1haをかんがいしている用水路である。本用水路は昭和13年頃にトンネル部(3500m)を、また昭和38年に開水路(5500m)を整備しているが、地域一帯の地質がシラス、ボラ、赤ホヤ、の特殊土壌であり、しかも整備後年数も相当経過しており、特に計画箇所であるトンネル部については、経年劣化に伴う脆弱化がみられトンネル部のコンクリートや土砂の崩壊が発生してきているため、通水断面の閉塞、上流開水路からの越流等によって、農地や人家、農作物及び農業用施設や公共用施設に甚大な被害を及ぼす恐れがあることから、早急な整備が必要となっている。

本事業を実施することにより、水路本体の被害防止は基より、今後、起こり得る土砂災害から農地・農業施設・人家・公共施設への被害を未然に防止し、農業用排水・農業生産基盤及び資産を守り、安定した農業経営を図ることを目的とする。

第 2 章 地域及び地積

第 1 節 地 域

(第 1 表)

事 業 名	地 域
県営農山漁村地域整備交付金事業 (用排水施設整備)	宮 崎 県 都 城 市

第 2 節 地 積

(第 2 表)

事 業 名	現況地目	田 (ha)	畑 (ha)	原野 (ha)	山林 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備 考
	市町村名							
県営農山漁村地域整備交付金事業(用排水施設整備)	都城市	114.1					114.1	
合 計		114.1					114.1	

第3章 現況
 第1節 気象及び海象
 1 一般気象

(第3表-1)

観測所名	都城気象観測所	かんがい期	非かんがい期	計	備考
観測期間	平成27年～令和6年	5月～10月	11月～4月	又は平均	
平均気温(℃)		23.7	11.0	17.4	
降水量	平均(mm)	2,353.3	711.4	3,064.7	
	基準年(mm)	—	—	—	
降水日数	平均(日)	125.8	94.3	220.1	
	基準年(日)	—	—	—	
根雪期間		—月—日～—月—日		—日間	
無霜期間		—月—日～—月—日		—日間	
最多風向	NNE	最大風速(風向)	19.7 m/s (NNE)		最多風向発生時期：1月～12月 最大風速発生年月日：平成28年9月20日

2 特殊気象

(第3表-2)

観測所名	第1位			第2位			第3位			第4位			第5位			備考
	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	
都城気象観測所																
観測期間	昭和18年～令和6年															
最大日雨量(mm)	538.5	R4.9.18	1/284	429.0	H17.9.5	1/61	407.0	S57.8.26	1/44	372.0	R1.7.3	1/27	344.5	S46.8.29	1/18	
最大時間雨量(mm)	77.0	H24.7.22	1/80	75.0	H28.9.20	1/60	72.0	S23.7.14	1/40	69.0	S54.7.17	1/28	60.0	H5.9.3	1/9	
最大4時間雨量(mm)	183.0	H2.9.29	1/77	153.0	S18.9.19	1/19	151.5	R4.9.18	1/18	148.0	H30.9.30	1/15	148.0	H28.9.20	1/15	
最大連続雨量(mm)	744.0	H17.9.6	1/96	678.9	S29.9.14	1/66	666.0	R4.9.18	1/60	634.0	S46.8.5	1/49	586.0	S46.8.30	1/36	
最大連続干天日数(日)	72	S48.11.10 S49.1.20	1/172	58	S62.12.30 S63.2.25	1/40	57	S31.11.4 S31.12.30	1/36	53	S44.12.8 S45.1.29	1/24	52	S55.12.3 S56.1.23	1/21	

3. 海象 該当なし

(第3表-3)

観測所名	既往最高潮位 (m)	さく望平均満潮位 (m)	上下弦平均満潮位 (m)	平均潮位 (m)	上下弦平均干潮位 (m)	さく望平均干潮位 (m)	既往最低潮位 (m)	備考
観測期間								
実測値								

第2節 土地状況

3. 地形、土壌及び侵食の程度

(第4表-1-1)

事業名	地目	田						畑・その他						受益地標高(m)		備考			
		傾斜区分	1/1000以上	1/1000~1/100	1/100~1/20	1/20~1/11.5	1/11.5以上	計	3°以下	3°~8°	8°~15°			15°~20°	20°以上		計	最高	最低
			8°~10°	10°~15°	8°~15°														
農山漁村地域整備交付金事業 (用排水施設整備事業(土砂崩壊))	面積 (ha)			114.1			114.1									160	133		
	比率 (%)			100			100												
合計	面積 (ha)			114.1			114.1									160	133		
	比率 (%)			100			100												

(第4表-1-2)

項目	土 壤 統 (区) 区 分 一 覧 表										面 積 (ha)		備考
	土 壤 断 面								堆積様式	母 材	事 業 名		
	土 壤 統(区)名	色	腐 食	礫 層	酸 化 沈 殿 物	土 性					泥炭層・黒泥層・及びグライ層	農山漁村地域整備交付金事業 (用排水施設整備事業(土砂崩壊))	
表土一層						下層二層	土三層						
松元統	灰褐	なし	あり	あり	SL	SL	SiCL	なし	水積	非固結水成岩	114.1	114.1	県土壌名高崎統
計											114.1	114.1	

該当なし

(第4表-1-3)

事業名	区分	土 壌 の 流 亡 率			年 平 均 流 亡 速 度			ガ リ 浸 食 の 程 度		備 考
		0~25%	25~50%	50%以上	3mm未満	3~5mm	5mm以上	中程度のもの	大なるもの	
	面積(ha)									
	比率(%)									

2. 土地分類 該当なし

(第4表-2-1)

市町村名	級地別	農 用 地 造 成										計 (ha)	備 考
		一級地	二 級 地				三 級 地				四 級 地		
			※ (ha)	3°~8° (ha)	8°~12° (ha)	12°~15° (ha)	※ (ha)	15°~20° (ha)	20°~25° (ha)	25°~30° (ha)			
	計												

該当なし

(第4表-2-2)

市町村名	級地別	干 拓					備 考							
		一級地 (ha)	二級地 (ha)	三級地 (ha)	四級地 (ha)	計								
	計													

3. 土地利用の状況

(第4表-3)

事業名	土地利用別	耕 地					山 林		採 草 放 牧 地	原 野	そ の 他	計	備 考
		水 田 (ha)	普 通 畑 (ha)	牧 草 地 (ha)	果 樹 園 (ha)	茶 園 (ha)	そ の 他 の 樹 園 地 (ha)	用 材 林 (ha)					
山形県国土交通行政	都城市	114.1										114.1	
	計	114.1										114.1	
	合 計	114.1										114.1	

4. 土地所有の状況

(第4表-4)

事業名	所有別		個人所有				計	備考
	区分							
備農 交山 付漁 金村 事地 業域 整	面積 (ha)		114.1				114.1	
	受益者数 (人)		328				328	
	筆数 (筆)		1,095				1,095	
	権利関係 備考 (関係戸数)		(251)				(251)	
	面積 (ha)		114.1				114.1	
合 計	受益者数 (人)		328				328	
	筆数 (筆)		1,095				1,095	
	権利関係 備考 (関係戸数)		(251)				(251)	
	面積 (ha)		114.1				114.1	
	受益者数 (人)		328				328	

第3節 水利状況

1. 用水状況

(1) 用水系統 別紙参照

(2) 用水施設

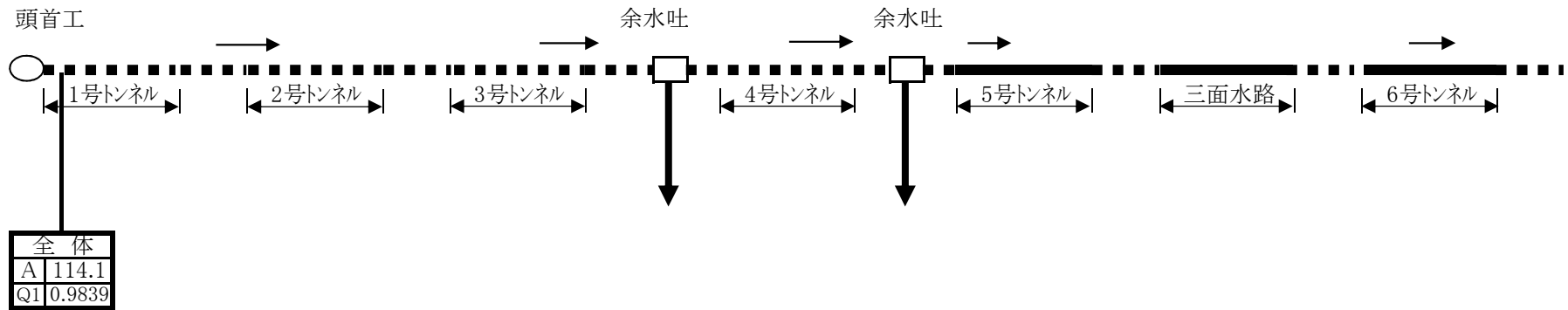
(ア) 取水方法一覧表



(第5表-1)

事業名	項目 施設名	かんがい面積						計		許可水利権		慣行水利権		延べ取水量 m ³ /S	備考
		20ha以上		20ha~10ha		10ha未満		箇所	ha	箇所	m ³ /S	箇所	m ³ /S		
		箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha								
農山漁村地域整備交付金事業	貯水池														
	井堰	1	114.1					1	114.1			1	0.9839	0.9839	
	自然取入口														
	揚水機														
	その他														
	計	1	114.1					1	114.1			1	0.9839	0.9839	
合計	1	114.1					1	114.1			1	0.9839	0.9839		

現況用水系統図

山仁田地区



凡 例	
A	支配面積 (ha)
Q1	流 量 (m ³ /s)
	計 画 路 線
	既 設 利 用

(イ) 改修を要する施設一覧表

(第5表-2)

事業名	項目 施設名	施設名又は箇所数 (箇所)	受益面積 (ha)	構造	規模	新設年又は更新年	改修を必要とする理由	備考
井堰								
自然取入口								
揚水機								
用水路	3	114.1	隧道・三面水路・余水吐ゲート	1800×1800 1800×900	1938年	崩落防止		
その他								
計	3	114.1						
	井堰							
	自然取水口							
	貯水池							
	揚水機							
	用水路							
	その他							
	計							
合計		3	114.1					

(3) 用水に関する被害状況

(ア) 用水不足による被害状況 該当なし

(第5表-3-1)

事業名	項目 系統名	かんがい面積 (ha)	現況必要水量 (千m ³)	不足水量				平均減産量		平均維持管理費 (千円)	備考
				かんがい期最大不足水量		かんがい期総不足水量		作物名	減産量 (t)		
				(m ³ /s)	(m ³ /s)	(千m ³)	(千m ³)				
	計										
合計											

(イ) その他の被害状況 該当なし

(第5表-3-2)

事業名	時期別	かんがい面積 (ha)	水温 (℃)		水質	被害量 (t)	備考
			最高	最低			

(4) ため池決壊の場合の想定被害状況 該当なし

(第5表-3-3)

事業名	想定被害面積 (ha)				想定被害額 (百万円)						備 考
	水 田	畑	そ の 他	計	作 物	農 地	農業用施設	公共施設	家屋その他	計	
	計										
合	計										

2. 排水状況

(1) 排水系統 該当なし

(2) 排水施設 該当なし

(ア) 排水方法一覧表

(第5表-4)

事業名	項 目		排 水 面 積						計		排水慣行 (m ³ /s)	現況排水能力 (m ³ /s)	備 考
			100ha以上		100ha~50ha		50ha未満						
	施 設 名	箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha				
	自然	排 水 路											
		水 門											
	機械	排 水 機											
		水門及び排水機											
	計												
	自然	排 水 路											
		水 門											
	機械	排 水 機											
		水門及び排水機											
	計												
合 計													

(イ)改修を要する施設の一覧表 該当なし

(第5表-5)

事業名	項目		施設名 又は箇所数	受益面積 (ha)	構造	規模	新設年又は更新年	改修を必要とする理由	備考
	施設名								
	自然	排水路							
		水門							
	機械	排水機							
		水門及び排水機							
計									
	自然	排水路							
		水門							
	機械	排水機							
		水門及び排水機							
計									
合計									

(3)排水に関する被害状況 該当なし

(第5表-6)

事業名	項目		排水 面積 (ha)	降水量		湛水状況				乾湿状況 (ha)						平均減産量		備考
	系統名			降 水 量 (mm)	湛水深 (cm)	湛水時間 (hr)	湛水面積 (ha)	湛水量 (千m ³)	田		畑		その他		作物名	減産量 (t)		
									乾	湿	乾	湿	乾	湿				
			平均															
			基準年															
			平均															
			基準年															
			平均															
			基準年															
	計		平均															
			基準年															

3. 河川状況

(1) 河川の状況 該当なし

(第5表-7)

項目 河川名	流路状況	勾配	断面	計画洪水量 (m ³ /s)	既往最大洪水量 (m ³ /s)	備考

(2) 洪水に関する被害状況 該当なし

(第5表-8)

項目 区分	農用地 (百万円)	農用施設 (百万円)	作物 (百万円)	公共施設 (百万円)	備考
過去の最大被害額					
平均被害額					

第4節 道路現況

1. 道路概況 該当なし

2. 主要道路一覧表 該当なし

(第6表)

NO.	路線名	管理区分別	延長 (m)	幅員(m)		構造	改善の要否	備考
				全幅	有効			

第 5 節 地域農業の概況

1. 産業別就業人口

(第7表-1)

項目	総数	農業	林業	漁業	鉱業	建設業	製造業	電気ガス 熱供給 水道業	運輸 通信業	卸売 小売業 飲食店	金融 保険業	不動産業	サービス業	公務	医療 教育 その他	備考
市町村名	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)
都城市	79,851	6,433	393	14	25	6,814	12,205	293	4,415	16,371	1,284	857	9,672	3,488	17,587	
計	79,851	6,433	393	14	25	6,814	12,205	293	4,415	16,371	1,284	857	9,672	3,488	17,587	
比率 (%)	100.0	8.0	0.4	0.1	0.1	8.5	15.3	0.4	5.5	20.5	1.6	1.1	12.1	4.4	22.0	

2. 経営耕地広狭別農家数及び耕地の分散状況並びに専業別農家数

(第7表-2)

区分 市町村名	農家 総戸 数 (戸)	経営耕地広狭別農家数 (戸)										1戸当たり平均農用地面積 (ha)					耕地の分散状況		専業別農家数(戸)			備考		
		経営 耕地 なし	0.3 ha 未満	0.3 ～ 1.0	1.0 ～ 2.0	2.0 ～ 3.0	3.0 ～ 5.0	5.0 ～ 10.0	10.0 ～ 20.0	20.0 ～ 30.0	30.0 ha 以上	自給的 農家	田	畑	樹 園 地	計	1戸当 たり 団地数	団地当 たり面 積(ha)	専業	兼業				
																				第一種	第二種			
都城市	5,446	74	51	1,250	614	249	210	187	87	14	4	2,706	1.36	1.57	0.07			3.00			845	186	1,709	専業別農家数 については2015年 センサスより
計	5,446	74	51	1,250	614	249	210	187	87	14	4	2,706	1.36	1.57	0.07			3.00			845	186	1,709	
比率 (%)	100.0	1.4	0.9	22.9	11.2	4.6	3.9	3.4	1.6	0.3	0.1	49.7	45.4	52.3	2.3			100.0			30.8	6.8	62.4	

3. 動力農機具及び主要家畜頭数

(第7表-3)

項目 市町村名	動力農機具								主要家畜								備考
	動力田植機		トラクター		コンバイン				乳用牛		肉用牛		豚		ブロイラー		
	数量 (台)	戸数 (戸)	数量 (台)	戸数 (戸)	数量 (台)	戸数 (戸)	数量 (台)	戸数 (戸)	数量 (頭)	戸数 (戸)	数量 (頭)	戸数 (戸)	数量 (頭)	戸数 (戸)	数量 (千羽)	戸数 (戸)	
都城市	1,791	1,753	5,343	3,351	833	797			6,651	117	54,065	1,014	326,643	58	287,190	85	動力農機具について は2015年センサスより
計	1,791	1,753	5,343	3,351	833	797			6,651	117	54,065	1,014	326,643	58	287,190	85	
100戸当り数量(台・頭・千羽)	102		159		105				5,685		5,332		563,178		337,871		
利用戸数割合 (%)	32.2		61.5		14.6				2.1		18.6		1.1		1.6		

4. 主要作物作付状況

(第7表-4)

市町村名		宮崎県						計	平均	作付率	備考
総耕地面積(ha)		62,500						62,500			
総本地面積(ha)		59,300						59,300			
区分 作物名		作付面積 (ha)	単位面積当たり 収量(kg/10a)	作付面積 (ha)	単位面積当たり 収量(kg/10a)	作付面積 (ha)	単位面積当たり 収量(kg/10a)	作付面積 (ha)	単位面積当たり 収量(kg/10a)	(%)	
田	表作	水稲	29,480					29,480		49.7	
	裏作	飼肥料(畑含む)	10,020					10,020		16.9	
	小計		39,500					39,500		66.6	
畑	春夏作	甘藷・里芋	10,600					10,600		17.9	
	秋冬作	野菜・工芸作類	13,500					13,500		22.8	
	小計		24,100					24,100		40.6	
樹園地	表作	みかん 他	1,866					1,866		3.1	
	小計		1,866					1,866		3.1	
計			65,466					65,466		110.3	
市町村別延作付率(%)		-						-			宮崎県作付率 102.8

5. 農業の動向

(第7表-5)

項目 区分	農家		土地		主要作物		大家畜		動力農機具		地域 指定等	備考				
	B	A	B	A	作物名	B	A	家畜名	B	A			農機具名	B	A	
変化の 状況 (C年 を100 とする 指数)	総農家数	84	68	耕地	98	94	水稲	86	80	乳用牛	80	80	動力田植機	80	-	(都城市) 農振 R5.03.17 冬春きゅうり H3.08.26 夏秋きゅうり S58.12.20 南九州畑作 S43.07.30 A:令和2年 (農林業センサス) B:平成27年 (農林業センサス) C:平成22年 (農林業センサス)
	専業農家数	91	48	田	99	93	大根(秋冬)	92	82	肉用牛	79	77	乗用型 トラクター	85	-	
	第一種 兼業農家数	81	37	畑	99	99	里芋	101	74	豚	78	87	コンバイン	83	-	
	第二種 兼業農家数	72	100	樹園地	94	81	甘藷	113	98	ブロイラー	98	133				
	農業従 事者数	85	64													
変化の 理由	後継者不足による減少		高齢化による減少		高齢化による減少		後継者不足による減少		機械の大型化							

第6節 地域環境の概況

本地区は、都城市農村環境計画に基づき、自然環境への配慮対策や配慮工法について検討されている。計画区域内の配慮すべき資源について地域住民や有識者等の意見を参考に検討を行ったところ、計画区域内に特に配慮すべき環境資源は確認されなかった。

第 4 章 一般計画

第 1 節 事業計画の要旨

1. 要旨

本地区は、高崎総合支所から約7kmにある大淀川支流の高崎川から取水し、総合支所や商店街、人家等の中心部など約9kmを経て総合支所より南東側約2kmの水田114.1haをかんがいしている用水路である。本用水路は昭和13年頃にトンネル部(3500m)を、また昭和38年に開水路(5500m)を整備しているが、地域一帯の地質がシラス、ボラ、赤ホヤ、の特殊土壌であり、しかも整備後年数も相当経過しており、特に計画箇所であるトンネル部については、経年劣化に伴う脆弱化がみられトンネル部のコンクリートや土砂の崩壊が発生してきているため、通水断面の閉塞、上流開水路からの越流等によって、農地や人家、農作物及び農業用施設や公共用施設に甚大な被害を及ぼす恐れがあることから、早急な整備が必要となっている。

本事業を実施することにより、水路本体の被害防止は基より、今後、起こり得る土砂災害から農地・農業施設・人家・公共施設への被害を未然に防止し、農業用排水・農業生産基盤及び資産を守り、安定した農業経営を図ることを目的とする。

2. 事業別面積

(第8表)

事業名 土地利用区分	農山漁村地域整備交付金事業														計	備考							
	水田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草地 (ha)	果樹園 (ha)	(ha)	(ha)	小計 (ha)	水田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草地 (ha)	果樹園 (ha)	(ha)	(ha)	小計 (ha)			水田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草地 (ha)	果樹園 (ha)	(ha)	小計 (ha)	
事業目的 用排水施設整備	114.1						114.1															114.1	
計	114.1						114.1															114.1	

第 2 節 営農計画及び土地利用計画

1. 営農計画の概要

本地区は、田畑輪換と集団的利用を推進しながら、水稻、飼料、野菜等を作付けしている地域である。

2. 土地利用区分

(第9表-1)

事業名	土地利用区分	水田	普通畑	牧草地	果樹園	茶園	その他	小計	原野	山林	その他	計	備考
		(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)		
農山漁村地域整備交付金事業	現況	114.1						114.1				114.1	
	計画	114.1						114.1				114.1	
計	現況	114.1						114.1				114.1	
	計画	114.1						114.1				114.1	

3. 作付方式

該当なし

(第9表-2)

事業名	項目	経営類型	土地利用区分	1 年 目												2 年 目												備考
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
	現況																											
	計画																											

4. 生産計画

該当なし

(第9表-3)

事業名	項目		作物名	作付面積(ha)			作付率(%)		単位面積当たり収量(kg/10a)			生産量(t)			同左生産量増減の内訳(t)		備考
	土地利用区分			現況	計画	増減	現況	計画	現況	計画	増減	現況	計画	増減	面積増減	単位面積当収量増加	
	水田	表作															
		裏作															
		計															
	普通畑	春夏作															
		秋冬作															
		計															
合計																	

5. 労働改善計画

該当なし

(第9表-4)

事業名	項目 土地利用区分	作物名	作付面積(ha)	単位面積当たり労働投下量 (hr/10a)				備考	
				区分	現況	計画	増減		
				人力					
				機械力					
					人力				
					機械力				
					人力				
					機械力				
	計			人力					
				機械力					
	合計								

6. 級地別土地利用区分

該当なし

(第9表-5)

土地利用区分	級地名	農用地造成 (ha)					干拓 (ha)					合計
		一級地	二級地	三級地	四級地	計	一級地	二級地	三級地	四級地	計	
農地	田											
	輪換耕地											
	畑											
	(普通畑)											
	(牧草畑)											
	樹園地											
	(果樹園)											
	(桑園)											
	その他											
	計											

7. 土地配分計画 該当なし

(第9表-6)

項目 区分	配分戸数 (戸)	地目別配分面積 (ha)							備考
		田	輪換耕地	畑			計		
				普通畑	牧草畑	樹園地			

第3節 用水計画

1. 計画基準年 昭和60年
2. 計画かんがい方式 自然流下方式
3. 計画用水系統 別紙添付
4. 計画用水量

(1) かんがい用水

(第10表-1-1)

項目 系統名	種別	面積 (ha)			水田かんがい			水田畑利用			畑地かんがい			その他		消費 水量	損失 率	粗用水量		備考
		事業名			普通期	代掻期	面積	一日当	平均間	面積	一日当	平均間	面積	計画平	面積			水量	率	
		金 山 漁 村 地 域 整 備 交 付		計	計画平 均単位 用水量 (mm/日)	計画代 掻単位 用水量 (mm)		(mm/日)	断日数 (日)		(ha)	(mm/日)		断日数 (日)		(ha)	均単位 用水量 (mm/日)			
山 仁 田	用水路	114.1		114.1	38	150 (37)	114.1									0.7871	15	0.5904	0.9260	松元統

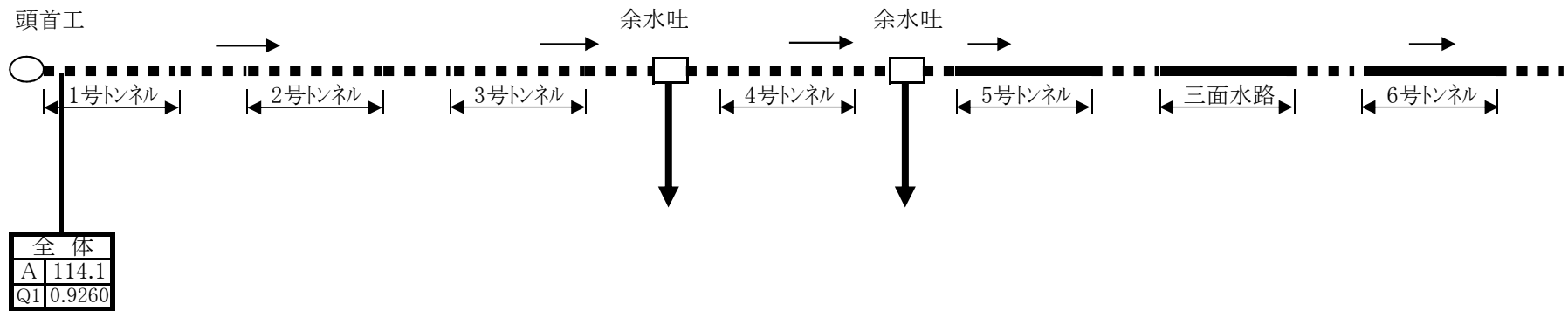
(2) 営農飲雑用水 該当なし

(第10表-1-2)



区 分	利用目的	対 象 面 積 (ha)			日 当 給 水 量		補給回数 (回)	関係戸数 (戸)	備 考
		事 業 名			単 位	最 大			
				計	給 水 量 (1/日)	給 水 量 (1/日)			

計画用水系統図

山仁田地区



全体	
A	114.1
Q1	0.9260

凡 例	
A	支配面積 (ha)
Q1	流 量 (m ³ /s)
	計画路線
	既設利用

5. 水源計画

(1) 水利用計画

該当なし

(第10表-2)

項目 区分	消費水量	有効雨量	純用水量	粗用水量	現況利用可能水量			不足量		水源依存量		水源工種	備考
					水源名	取水地点 利用可能量	ほ場利 用可能量	純不足量	全不足 水量	水源名	水量		
	a (千m ³)	b (千m ³)	C=a-b (千m ³)	d=c/(1-α) (千m ³)		e (千m ³)	f (千m ³)	g=c-f (千m ³)	h=d-e (千m ³)		(千m ³)		損失率：α

(2) 用水対策

(ア) 貯水池

該当なし

(第10表-3)

項目 貯水地名	流域面積 (km ²)		かんがい面積(ha)			純貯水量 (千m ³)	利用貯水量 (千m ³)	利用回数 (回)	最大取水量 (m ³ /S)	備考
	直接	間接	事業名							
					計					

(イ) 井堰及び自然取入口

該当なし

(第10表-4)

項目 取水施設名	河川名	流域面積 (km ²)	かんがい面積(ha)			取水量(m ³ /s)		渇水量 (m ³ /S)	備考
			事業名			最大	平均		
			経営体育成		計				

(ウ) 揚水機

該当なし

(第10表-5)

項目 名称	水源名	かんがい面積(ha)			所要水量(m ³ /s)		揚水機				備考
		事業名			最大	平均	実揚程 (m)	揚水量 (m ³ /S)	台数 (台)	全揚水量 (m ³ /S)	
		県経営体		計							

(エ) 用水路

(第10表-6)

項目 名称	かんがい面積(ha)			最大通水量 (m ³ /S)	延長 (km)	構造	備考
	事業名						
	農山漁村地域整備交付金事業		計				
谷川用水路	114.1		114.1	0.9260	0.304	隧道 1800×1800	
					0.018	三面張水路1800×900	

(オ) その他の水源施設

該当なし

(3) 水温水質

該当なし

第 4 節 排水計画

- 1. 計画基準雨量 該当なし
- 2. 計画排水方式 該当なし
- 3. 計画排水系統 該当なし
- 4. 計画排水量 該当なし

(第 1 1 表 - 1)

排水系統名	受益面積 (ha)			流域面積 (Km ²)		基準雨量 (mm)	降雨による単位流出量 (m ³ /S/Km ²)		基底流出量 (m ³ /S/Km ²)		全排水量 (m ³ /S)			単位排水量 (m ³ /S/Km ²)		備考
	事業名			山地	平地		山地	平地	山地	平地	山地	平地		山地	平地	
			計									自然排水	機械排水			
計																

5. 排水対策

(1) 排水水門

該当なし

(第 1 1 表 - 2)

名称	流域面積 (km ²)	受益面積 (ha)			計画排水量 (m ³ /S)	地区内たん水深 (m)	排水本川			備考
		事業名					名称	計画洪水量 (m ³ /S)	計画洪水位 (m)	
				計						
計										

(2) 排水機

該当なし

(第 1 1 表 - 3)

名称	流域面積 (km ²)	受益面積 (ha)			計画排水量		排水路				備考
		事業名			排水量 (m ³ /S)	地区内たん水深 (m)	実揚程 (m)	排水量 (m ³ /S)	台数 (台)	全排水量 (m ³ /S)	
				計							
計											

(3) 排水路

該当なし

(第11表-4)

項目 名称	流域面積 (km ²)	受益面積 (ha)			計画排水量 (m ³ /S)	延長 (km)	構造	排水本川			備考
		事業名						名称	計画洪水量 (m ³ /S)	計画洪水位 (m)	
				計							
計											

(4) その他

該当なし

6. 湛水検討

該当なし

第5節 道路計画

1. 道路及び索道

(1) 道路

該当なし

(第12表-1)

項目 路線名	幅(有効) (m) × 延長 (km)	構造	既設道路との関係	備考

2. 索道

該当なし

(第12表-2)

項目 路線名	能力 (t/hr)	延長 (m)	接続道路名	備考

2. 路線配置図

該当なし

第 6 節 農用地造成計画

1. 農用地造成計画

(1) 農用地造成計画

該当なし

(第 13 表-1)

土地利用区分	項目	主要作物	自然傾斜	耕地の形態	標準区画の形状	備考

(2) 末端道水路配置図

2. 土壌改良

該当なし

(第 13 表-2)

区分	面積 (ha)	土壌統(区)名	pH		置換酸度 (Y ₁)	りん酸 吸収係数 (mg/100g)	ha 当たり所要量			備考
			H ₂ O	KC 1			石灰 (t)	りん酸質資材 (t)	有機質資材 (t)	

第 7 節 洪水調整計画

1. 計画基準雨量

該当なし

2. 計画洪水量及び調節量

該当なし

(第 14 表-1)

地点	流域面積 (km ²)	洪水到達時間 (hr)	計画洪水量 (m ³ /S)	安全洪水量 (m ³ /S)	必要調節量 (m ³ /S)	ピーク時 調節量 (m ³ /S)	ピーク時 調節後流量 (m ³ /S)	調節後 最大流量 (m ³ /S)	調節前後の 最大流量の差 (m ³ /S)	最大調節量 (m ³ /S)

3. 貯水池

該当なし

(第 14 表-2)

貯水池名	流域面積 (km ²)		計画洪水量 (m ³ /S)	貯水量 (千m ³)			計画調節流量 (m ³ /S)	可能調節流量 (m ³ /S)	備考
	直接	間接		有効	洪水調節容量	他目的			

4. 洪水調節検討
- (1) 河川改修計画との関係 該当なし
 - (2) 洪水調節が下流に及ぼす影響 該当なし
 - (3) 計画基準雨量以外の降雨についての検討 該当なし
5. 管理計画
- (1) 管理機構 該当なし
 - (2) ダム管理操作上の各種基準 該当なし
 - (3) 洪水調節要領 該当なし

第 8 節 干拓計画 該当なし

(第 15 表)

項目 名称	延長 (m)	計画高潮(水)位 (T.P.m)	風向及び対岸距離 (km)	風速 (m/S)	気圧 (mb)	備考

第 9 節 農用地整備計画

1. 区画整理

(1) 区画の形状 該当なし

(第 16 表-1)

長辺×短辺 (m)	区画面積 (ha)	全体面積 (ha)	割合 (%)	田面差 (m)	備考
計					

(2) 表土扱い 該当なし

(第 16 表-2)

面積 (ha)	表土扱い要否の理由	扱い深 (cm)	土量 (m ³)	備考

(3) 末端道水路配置図

2. 暗渠排水

該当なし

(第16表-3)

区分	項目	面積 (ha)			土壌統(区)名	基準雨量 (mm/日)	単位排水量 (l/s/ha)	計画後の 地下水位 (m)	集水渠出口以下 の排水方法	備考
		事業名								
				計						
	計									

3. 客土

該当なし

(第16表-4)

区分	項目	面積 (ha)			土壌統 (区)名	減水深 (mm/日)		作土の厚さ (cm)		10a当客土量 (m ³)	土壌の性質		備考
		事業名				現況平均	計画平均	現況平均	計画平均		受益地 (%)	採土地 (客土材料)	
				計									
	計												

4. 農地保全

(1) 防災林

該当なし

(第16表-5-1)

区分	項目	最大風速 (m/S)	幅 (m)	間隔 (m)	備考

(2) 排水工

該当なし

(第16表-5-2)

名称	項目	基準雨量 (mm/日)	土性	流出率	排水量		備考
					単位排水量(m ³ /S/ha)	全排水量(m ³ /S)	

(3) 侵食(崩壊)防止工

該当なし

(第16表-5-3)

施設名	項目	位置	支配面積 (ha)	機能	備考

第10節 老朽ため池改修計画

1. 洪水吐改修計画

(1) 計画基準雨量

該当なし

(2) 計画洪水量

該当なし

2. 堤体補強計画

該当なし

3. 取水施設改修計画

該当なし

第5章 主要工事計画

第1節 用水施設

1. 貯水池

該当なし

(第17表-1)

名称	型式	流域面積 (km ²)		位置 堤高 (m)	堤長 (m)	堤体積 (千m ³)	基礎地盤地質	貯水量 (千m ³)		備考
		直接	間接					総貯水量	有効貯水量	
堤体										
洪水吐	型式	洪水量 (m ³ /S)	備考	取水施設	型式	取水量 (m ³ /S)	放流施設	型式	放流量 (m ³ /S)	

2. 頭首工

該当なし

(第17表-2)

名称	形式	堤高 (m)	堤長 (m)			取水位 (m)	取水量 (%/S)	付帯施設	備考
			固定部	可動部	計				

3. 揚水機

該当なし

(第17表-3)

項目 名称	位置	揚水量 (m ³ /S)	揚程 (m)		揚水機			原動機			備考
			全揚程	実揚程	型式	口径 (mm)	台数 (台)	型式	動力	台数 (台)	

4. 用水路

(第17表-4)

項目 水路名	かんがい面積 (ha)			通水量 (m ³ /S)	延長 (km)			構造	勾配	主要構造物	備考
	事業名				トンネル	開きよ	計				
	農山漁村地域整備 交付金事業		計								
谷川用水路	114.1		114.1	0.9260	0.304	0.018	0.322	隧道1800×1800 三面排水路1800×900	1/1,489~1/1,920		
計	114.1		114.1	0.926	0.304	0.018	0.322				

5. その他かんがい施設

該当なし

(第17表-5)

施設名	項目	構造	規模	数量	備考

第2節 排水施設

1. 排水水門

該当なし

(第18表-1)

名称	項目	位置	形式	構造	内水位(m)	外水位(m)	排水量 (m ³ /S)	備考

2. 排水機

該当なし

(第18表-2)

名称	項目	位置	排水量 (m ³ /S)	揚程 (m)		排水機			原動機		備考
				全揚程	実揚程	型式	口径(mm)	台数(台)	形式	動力()	

3. 排水路

該当なし

(第18表-3)

水路名	項目	受益面積(ha)		通水量 (m ³ /S)	延長 (km)			構造	勾配	主要構造物 (箇所)	備考
		事業名			隧道	計					
			計								
	計										

4. その他排水施設

該当なし

第 3 節 道路及び索道

1. 道路

(1) 道路の総括表

該当なし

(第 19 表-1)

区分	項目 路線名	幅(有効) (m) × 延長 (km)	構 造	付 帯 構 造 物			最急こう配 (%)	同左の延長 (m)	最小曲線半径 (m)	備 考
				名 称	構 造	数量(箇所)				
	計									

(2) 道路主要構造物

該当なし

(第 19 表-2)

路線名	項目 名 称	規 模 構 造	延 長 (m)	箇 所 数 (箇所)	備 考

2. 索道

該当なし

(第 19 表-3)

名称	項目 延 長 (m)	高 低 差 (m)	能 力 (t/hr)	原 動 機		備 考
				形 式	動 力 ()	

第 4 節 農用地造成

1. 農用地造成工

(1) 抜 根

該当なし

(第 20 表-1)

区分	項目 樹 種	樹 径 (cm)	ha 当たり本数(本/ha)	面 積 (ha)	工 法	備 考
	計					

(2) 除 礫

該当なし

(第 20 表-2)

区分	項目 対象土層の厚さ(cm)	ha 当たり標準除礫量 (m ³ /ha)	面 積 (ha)	工 法	備 考
	計				

(3) 開墾作業

該当なし

(第20表-3)

区分	項目		面積 (ha)	工 法	備 考
	地 目	造 成 工 法			
計					

(4) 地目変換

該当なし

(第20表-4)

区分	項目	面積 (ha)	工 法	備 考
計				

(5) 末端用水路等

該当なし

(第20表-5)

区分	項目	数 量	規 模	構 造	備 考
計					

(6) 末端排水路等

該当なし

(第20表-6)

区分	項目	数 量	規 模	構 造	備 考
計					

2. 土壌改良

該当なし

(第20表-7)

区分	項目	面積 (ha)	石 灰 量 (t)	りん酸質資材量 (t)	有機質資材量 (t)	備 考
計						

第 5 節 洪水調整施設

1. 貯水池

該当なし

2. 頭首工及び導水路

(1) 頭首工

該当なし

(第21表-2)

名 称			位 置				備 考
形 式	集水面積 (km ²)	堤 高 (m)	堤 長 (m)			計画洪水位	
			固 定 部	稼 働 部	計		
計							

(2) 導水路

該当なし

(第21表-3)

水路名	項目	通水量 (m ³ /S)	延 長 (m)			構 造	勾 配	備 考
			トンネル	そ の 他	計			

第 6 節 干拓施設

1. 堤防

該当なし

(第22表-1)

項目 名称	形式	延長 (m)	構 造					原地盤標高 (m)		備 考
			堤頂標高(m)	盛土幅(m)	盛土標高 及び舗装	上流斜面	下流斜面	平 均	最 低	

2. 潮止め

該当なし

(第22表-2)

項目 名称	工 法	幅 員 (m)	敷 高 標 高 (m)	潮止め堤標高(m)	最大流速(m/S)	床固め構造	備 考

3. 付属施設

4. 埋 立

該当なし

(第22表-3)

項目 区分	面 積 (ha)	埋立標高(m)	埋立土量(m ³)	施 工 方 法	備 考

第 7 節 農用地整備施設

1. 区画整理

(1) 区画整理

該当なし

(第23表-1)

工 区 名	面 積 (ha)	整 地 工		表 土 扱 い		備 考
		標 準 区 画	土 量 (m ³)	面 積 (ha)	土 量 (m ³)	

(2) 末端用水路等

該当なし

(第23表-2)

項目 区 分	数 量	規 模	構 造	備 考

(3) 末端排水路等

該当なし

(第23表-3)

項目 区 分	数 量	規 模	構 造	備 考

2. 暗渠排水

(1) 暗渠排水

該当なし

(第23表-4-1)

項目 区分	面 積 (ha)		集 水 渠				吸 水 渠						集水渠出口以下の 排 水 施 設			備 考
	事 業 名	計	勾 配	管 種	管 径 (mm)	延 長 (m/ha)	勾 配	管 種	管 径 (mm)	深 さ (m)	間 隔 (m)	延 長 (m/ha)	名 称	構 造	数 量 (m/ha)	

(2) 心土破砕

該当なし

(第23表-4-2)

項目	対象土層の厚さ (cm)	ha当たり標準徐礫量 (m ³ /ha)	面積 (ha)	工法	備考
区分					
計					

3. 客土

該当なし

(第23表-5)

項目	面積 (ha)			客入土量 (m ³)	土取場土量 (m ³)	運搬距離 (km)	運搬方法	備考
	事業名							
区分			計					
計								

4. 徐礫

該当なし

(第23表-6)

項目	対象土層の厚さ (cm)	ha当たり標準徐礫量 (m ³ /ha)	面積 (ha)	工法	備考
区分					
計					

5. 農地保全

(1) 防災林

該当なし

(第23表-7)

項目	幅 (m)	延長 (m)	面積 (ha)	樹種	植栽本数(本)	備考
区分						
計						

(2) 排水路

該当なし

(第23表-8)

項目	延長 (m)	流量 (m ³ /S)	構造	備考
区分				
計				

(3) 侵食防止工

該当なし

(第23表-9)

項目	構造	数量	備考
名称			
計			

第 8 節 老朽ため池改修施設

1. 貯水池 該当なし

(第 2 4 表)

名 称					位 置			
堤 体	形 式	流 域 (km ²)	堤 高 (m)	堤 長 (m)	堤 体 積 (m ³)	堤 頂 幅 (m)	貯 水 量 (千m ³)	備 考
洪 水 吐	型 式	洪 水 量 (m ³ /S)	規 模 (m)	備 考	取 水 施 設	型 式	取 水 量 (m ³ /S)	備 考

2. 堤体補強施設

- (1) のり面保護施設 該当なし
- (2) 漏水防止工 該当なし

第 6 章 附帯工事計画 該当なし

第 7 章 工事の着手及び完了の予定時期
令和8年度～令和17年度

第 8 章 環境との調和への配慮

本地区は、都城市農村環境計画に基づき、自然環境への配慮対策や配慮工法について検討されている。計画区域内の配慮すべき環境資源について地域住民や有識者等の意見を参考に検討を行ったところ、計画区域内に特に配慮すべき環境資源は確認されなかったが、排対型の機械使用や、下流側の河川環境への負荷を低減させるように汚水の流出防止に努めることにより、環境との調和に配慮する計画である。

第 9 章 換地計画の概要

第 1 節 換地計画を作成する上での基本的な考え方 該当なし

第 2 節 換地区の設定

1. 換地区の名称、所在、面積 該当なし (第 25 表-1)

換 地 区 名	換 地 区 の 所 在	面 積 (ha)

2. 換地区を設定する理由 該当なし

第 3 節 換地計画樹立の基本方針

1. 従前の土地の地積の基準 該当なし (第 25 表-2)

換 地 区 名	地 積 の 基 準

3. 農用地集団化の方針

該当なし

(第25表-4)

区分 換地区名	地帯別、グループ別団地の設定	個人別換地の方法		
		位置の選択方法	1戸当たり目標団地数	区画畦畔の取扱い

4. 非農用地の換地の方法

該当なし

(第25表-5)

区分 換地区名	用途	非農用地区域 の位置の概略	面積 (m ²)	換地の手法	換地取得予定者	その他
計						

第4節 土地の評価及び清算の方法

- 1. 評価の方法 項目別配点評価方式 該当なし
- 2. 清算の方法 比例地積清算方式 該当なし

第5節 換地計画樹立の年度計画

該当なし

(第25表-6)

区分 換地区名	一時利用地の指定予定年度	換地計画の決定予定年度	換地処分予定年度	備考

第 11 章 効 用

(第 27 表)

区分	項目	年 総 効 果 額	年 総 増 加 所 得 額	備 考
	減 産 防 止 効 果	千円	千円	
	維 持 管 理 費 節 減	△ 306 千円	922 千円	
	災 害 防 止 効 果	31,284 千円	千円	農業 23,580 千円 一般 4,741 千円 公共 2,963 千円
	景 観 ・ 環 境 保 全 効 果	千円	千円	
	計	30,978 千円	922 千円	

<参 考>

総費用 : 580,236 千円 総便益額 : 30,978 千円 総費用総便益比 : 1.13

第 12 章 関連する事業 該当なし

(第 28 表)

区分	事 業 名	事 業 主 体	受 益 面 積 (ha)	事 業 内 容

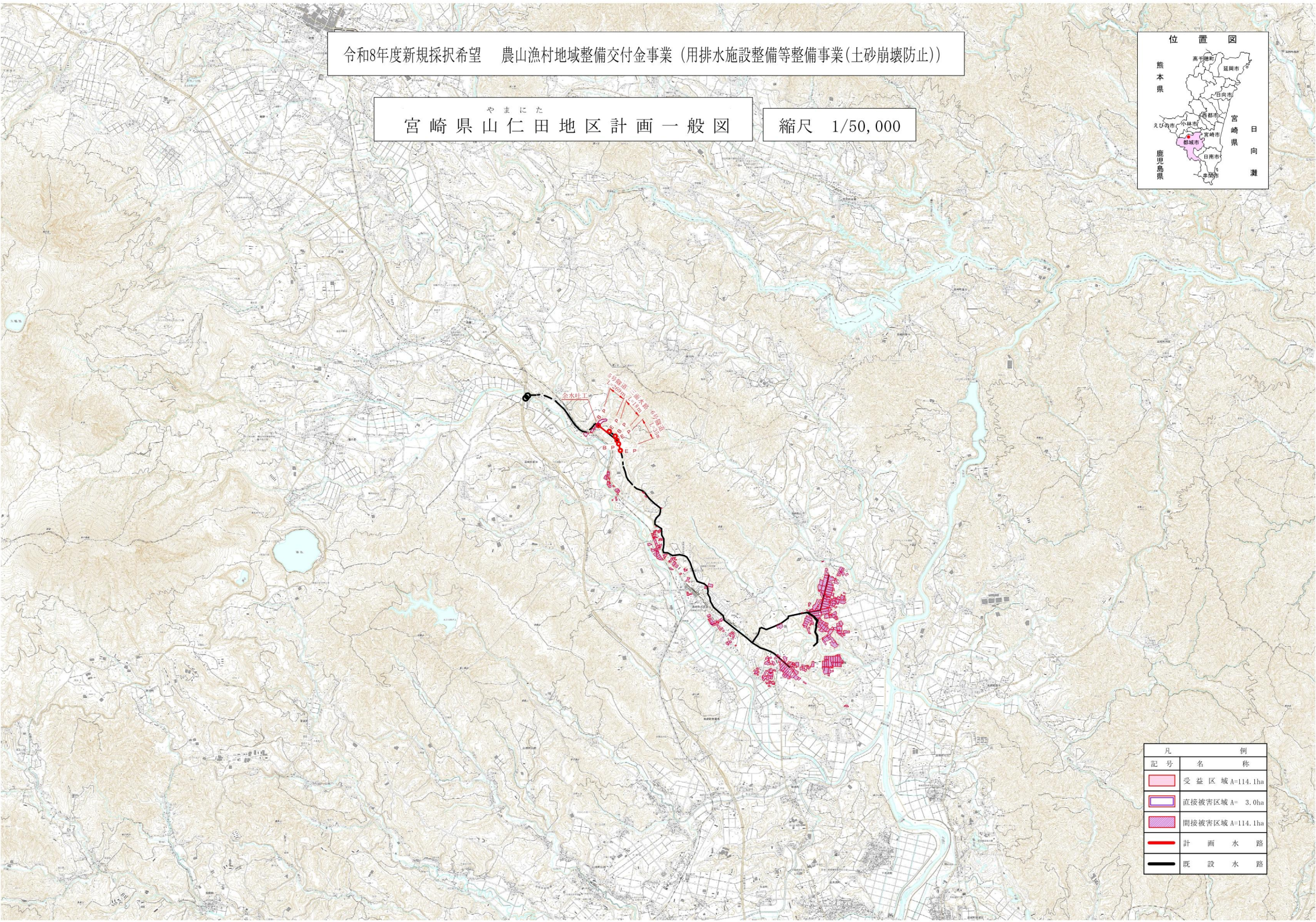
第 13 章 現況・計画図面

1. 計画一般図
2. 計画概要図

令和8年度新規採択希望 農山漁村地域整備交付金事業（用排水施設整備等整備事業(土砂崩壊防止)）

宮崎県山仁田地区計画一般図

縮尺 1/50,000

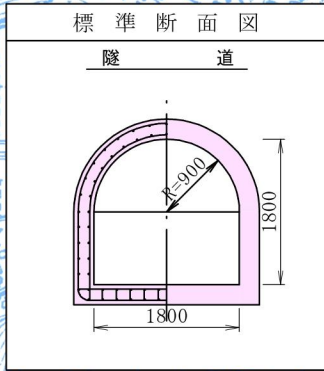
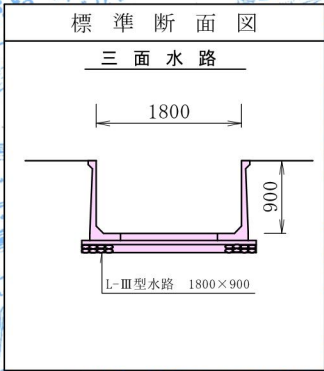
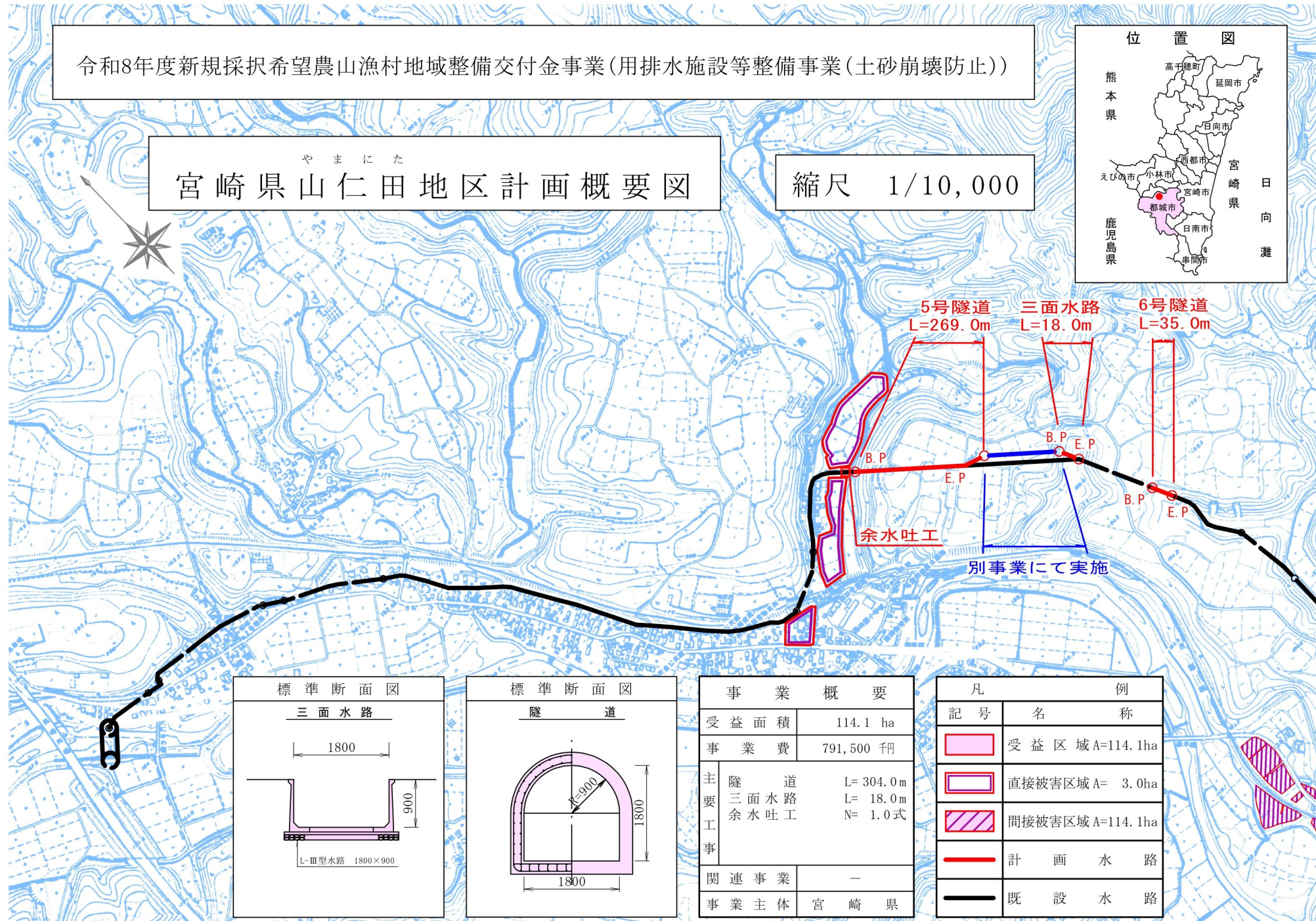
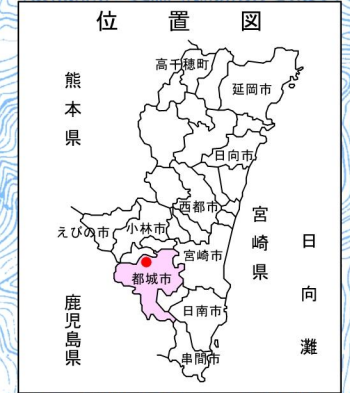


記号	名称
	受益区域 A=114.1ha
	直接被害区域 A= 3.0ha
	間接被害区域 A=114.1ha
	計画水路
	既設水路

令和8年度新規採択希望農山漁村地域整備交付金事業(用排水施設等整備事業(土砂崩壊防止))

宮崎県山仁田地区計画概要図

縮尺 1/10,000



事業概要	
受益面積	114.1 ha
事業費	791,500 千円
主要工事	隧道 L= 304.0m 三面水路 L= 18.0m 余水吐工 N= 1.0式
関連事業	—
事業主体	宮崎県

凡例	
記号	名称
	受益区域A=114.1ha
	直接被害区域A= 3.0ha
	間接被害区域A=114.1ha
	計画水路
	既設水路